

Vita Sine Litteris Mors Est

ウィータ シネ リッテリース モルス エスト

Vita Sine Litteris Mors Est

(Life without learning is death)

学問なき人生は死である

これは、古代ローマの劇作家・哲学者・政治家であるセネカ（B.C.4 年頃～A.D.65 年）の言葉（ラテン語）です。

この言葉は、セネカが最晩年に書いた、ルキリウスに宛てた『倫理書簡集』（*Epistulae morales ad Lucilium*）の 82 通目が元になっています。実際の文章は、“*Otium sine litteris mors est et hominis vivi sepulture.*” 「学問もせず閑暇を無為に過ごすのは死であって、生きたまま葬られているに等しい。」^(注) となっていますが、“*Otium*”（余暇）を “*Vita*”（人生）に置き換えた形で知られており、各種のラテン語諺(ことわざ)集に収載されています。

また、イングランド最古の学校の一つであるダービー・スクール（1989 年閉校）や米国ニューヨーク州のアデルフィ大学などの高等教育機関において、モットーや校章に引用され、その精神は現在でも受け継がれているようです。

アーチ状にデザイン化されたこの文字は、本学の創立 50 周年に当たる平成 11 年（1999 年）10 月に、全学のサイン計画の一環として掲げられました。この言葉が示すとおり、充実した人生を送るために、学内・学外を問わず、当館が活用されることを願います。



【ルキウス・アンナエウス・セネカ（Lucius Annaeus Seneca）】

スペインのコルドバの生まれ。ローマ皇帝ネロの家庭教師で、治世初期に仕え善政に導いた。ストア学派の哲学者として著名で、彼の哲学書や悲劇を中心とする文芸作品は、モンテーニュの『エッセー』や、シェークスピアをはじめとする近世西洋の演劇など、後世に大きな影響を与えた。

(注) 『セネカ哲学全集 6：倫理書簡集Ⅱ』（高橋宏幸訳 2006 年 岩波書店）p.15 より引用。

この本は「本館 2F 開架閲覧室」に所蔵しています。（請求記号：131 / Se61s / 6）

“*Litteris*” は、*litter*（文字）の複数形で、文学、学問、教養などの意味となります。